



平成23年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 静岡瓦斯株式会社

上場取引所 東

コード番号 9543 URL <http://www.shizuokagas.co.jp/>

代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 戸野谷 宏

問合せ先 責任者(役職名) コーポレートサービス部 経理担当マネジャー (氏名) 森田 将信 TEL (054) 284 - 7990

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第3四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第3四半期	93,369	5.5	2,325	△ 48.3	2,435	△ 46.0	929	△ 65.7
22年12月期第3四半期	88,528	14.6	4,496	△ 69.3	4,512	△ 69.1	2,709	△ 66.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第3四半期	12.21	—
22年12月期第3四半期	35.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第3四半期	109,928	54,787	42.6	640.19
22年12月期	108,362	56,155	44.6	634.36

(参考) 自己資本 23年12月期第3四半期 46,824百万円 22年12月期 48,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	5.00	—	4.00	9.00
23年12月期	—	4.50	—	—	—
23年12月期(予想)	—	—	—	4.50	9.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

平成22年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当4円00銭 記念配当1円00銭(創立100周年記念配当)

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,940	8.1	3,360	△ 53.2	3,510	△ 51.4	1,630	△ 62.1	21.64

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

23年12月期3Q	76,192,950株	22年12月期	76,192,950株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

23年12月期3Q	3,051,679株	22年12月期	50,773株
-----------	------------	---------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年12月期3Q	76,042,912株	22年12月期3Q	76,142,408株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年8月4日公表の決算短信に記載した平成23年12月期(平成23年1月1日～平成23年12月31日)の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日平成23年11月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」及び【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(参考) 個別業績予想

平成23年12月期の個別業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,440	10.8	△ 640	—	300	△ 89.7	510	△ 76.8	6.77

(注)個別業績予想数値の当四半期における修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 参考情報	11
ガス販売量（個別）	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(平成23年1月～9月)は、ガス販売量の増加や原料費調整制度によるガス販売単価の上方調整等により、ガス売上高は前年同期に比べ5.7%増の798億円となり、LPG・その他エネルギー売上高及びその他売上高を加えた連結売上高全体では5.5%増の933億円となりました。

一方、費用面では、原料価格の上昇や原料使用量の増加等により売上原価が前年同期に比べ11.2%増の730億円となり、売上高を上回る伸びとなりました。

この結果、営業利益は前年同期に比べ48.3%減の23億円、経常利益は46.0%減の24億円、四半期純利益は65.7%減の9億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期末における総資産は平成22年12月期末(以下、「前期末」という。)に比べ15億円増の1,099億円となりました。固定資産は静岡幹線関連等への投資を行う一方、既存設備の減価償却が進んだことなどにより、前期末に比べ13億円減の879億円となりました。流動資産は消費税等の還付などによりその他流動資産が減少する一方、原料価格の上昇等による原料在庫金額の増加や売掛金の増加等により、前期末に比べ29億円増の219億円となりました。

負債は長期借入金が増加する一方、原料価格の上昇等による買掛金や短期借入金の増加等により、前期末に比べ29億円増の551億円となりました。

純資産は自己株式の取得等により前期末に比べ13億円減の547億円となり、自己資本比率は42.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物は、平成22年12月期末に比べ2億円減の4億円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローとその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

減価償却前利益は111億円となりましたが、仕入債務の増加をたな卸資産や売上債権の増加が上回ったことなどにより、営業活動によるキャッシュ・フローは79億円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

静岡幹線建設工事をはじめとする投資を行ったことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フローは74億円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

運転資金需要等に対応して短期借入金が増加したものの、長期借入金の返済が進んだことや自己株式を取得したことなどにより、財務活動によるキャッシュ・フローは7億円の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、また第4四半期の原油価格、為替レートの想定を見直したことなどにより、通期の業績予想を修正いたしました。この結果、売上高は1,279億円、営業利益は33億円、経常利益は35億円、当期純利益は16億円となる見通しです。

(参考) 原油価格・為替レートの想定

原油価格 (全日本CIF)	前回想定	115ドル/bbl (第4四半期)
	今回想定	109.7ドル/bbl (第4四半期)
為替レート	前回想定	82円/ドル (第4四半期)
	今回想定	78円/ドル (第4四半期)

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

(イ) 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(ロ) たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(ハ) 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。

この変更による損益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	25,903	29,291
供給設備	30,722	32,951
業務設備	3,833	3,981
その他の設備	4,551	4,940
建設仮勘定	5,787	3,385
有形固定資産合計	70,798	74,550
無形固定資産	2,073	1,580
投資その他の資産		
投資有価証券	6,660	7,239
長期貸付金	5,610	3,811
繰延税金資産	2,075	1,544
その他投資	1,002	859
貸倒引当金	△249	△246
投資その他の資産合計	15,099	13,208
固定資産合計	87,971	89,339
流動資産		
現金及び預金	495	756
受取手形及び売掛金	10,158	8,989
商品及び製品	330	305
原材料及び貯蔵品	7,809	4,573
繰延税金資産	842	831
その他流動資産	2,383	3,625
貸倒引当金	△62	△58
流動資産合計	21,957	19,023
資産合計	109,928	108,362

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
固定負債		
長期借入金	27,240	29,248
繰延税金負債	1	19
退職給付引当金	2,704	2,941
ガスホルダー修繕引当金	207	196
負ののれん	549	725
その他固定負債	553	674
固定負債合計	31,257	33,807
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	5,372	6,882
買掛金	7,249	5,083
短期借入金	6,970	1,586
未払金	1,163	957
未払法人税等	878	1,056
賞与引当金	928	447
その他流動負債	1,319	2,384
流動負債合計	23,883	18,399
負債合計	55,140	52,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,279	6,279
資本剰余金	4,589	4,589
利益剰余金	36,000	35,718
自己株式	△1,550	△26
株主資本合計	45,318	46,560
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,506	1,753
繰延ヘッジ損益	—	△12
評価・換算差額等合計	1,506	1,741
少数株主持分	7,963	7,853
純資産合計	54,787	56,155
負債純資産合計	109,928	108,362

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	88,528	93,369
売上原価	65,674	73,040
売上総利益	22,854	20,329
供給販売費及び一般管理費	18,357	18,003
営業利益	4,496	2,325
営業外収益		
受取利息	53	77
受取配当金	93	86
負ののれん償却額	181	176
雑収入	214	243
営業外収益合計	542	585
営業外費用		
支払利息	506	449
雑支出	20	26
営業外費用合計	526	475
経常利益	4,512	2,435
特別利益		
固定資産売却益	439	77
投資有価証券売却益	1	—
移転補償金	73	—
特別利益合計	514	77
特別損失		
固定資産売却損	2	—
投資有価証券評価損	10	242
特別損失合計	13	242
税金等調整前四半期純利益	5,014	2,269
法人税等	1,807	795
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,474
少数株主利益	497	544
四半期純利益	2,709	929

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,014	2,269
減価償却費	9,608	8,885
負ののれん償却額	△181	△176
有形固定資産除却損	47	47
投資有価証券評価損益 (△は益)	10	242
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	7
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△215	△237
ガスホルダー修繕引当金の増減額 (△は減少)	22	11
賞与引当金の増減額 (△は減少)	682	480
受取利息及び受取配当金	△147	△164
支払利息	506	449
有形固定資産売却損益 (△は益)	△436	△77
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,052	△1,171
たな卸資産の増減額 (△は増加)	318	△3,255
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,646	2,135
未払又は未収消費税等の増減額	△1,720	860
その他	△1,117	△1,328
小計	5,693	8,978
利息及び配当金の受取額	147	164
利息の支払額	△553	△487
法人税等の支払額	△5,008	△713
営業活動によるキャッシュ・フロー	279	7,941
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19	△16
定期預金の払戻による収入	25	16
有形及び無形固定資産の取得による支出	△7,005	△6,021
有形及び無形固定資産の売却による収入	597	86
投資有価証券の取得による支出	△20	△3
投資有価証券の売却による収入	11	0
貸付けによる支出	△1,560	△1,950
貸付金の回収による収入	162	150
工事負担金等受入による収入	339	23
その他	△631	255
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,100	△7,459
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,907	5,383
長期借入れによる収入	3,750	2,750
長期借入金の返済による支出	△5,184	△6,269
自己株式の取得による支出	—	△1,525
配当金の支払額	△681	△647
少数株主への配当金の支払額	△13	△434
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,777	△743
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,043	△261
現金及び現金同等物の期首残高	5,046	734
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,002	472

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	ガス	LPG・その他エネルギー	その他	計	消去又は は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に 対する売上高	74,950	8,269	5,308	88,528	—	88,528
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	540	227	3,670	4,437	(4,437)	—
計	75,490	8,496	8,978	92,966	(4,437)	88,528
営業利益又は 営業損失 (△)	6,057	671	△ 73	6,655	(2,158)	4,496

〔セグメント情報〕

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、都市ガス及びLPG普及を中心とした「総合エネルギー事業」を展開することを基本としており、製品・サービス別のセグメントである「ガス」及び「LPG・その他エネルギー」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な製品・サービスは以下のとおりであります。

「ガス」・・・ガス、LNG

「LPG・その他エネルギー」・・・LPG、オンサイト・エネルギーサービス

②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・その 他エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	79,386	8,364	87,750	5,619	93,369	—	93,369
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	436	257	693	2,620	3,313	△ 3,313	—
計	79,822	8,621	88,443	8,239	96,683	△ 3,313	93,369
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,779	684	4,463	△ 17	4,446	△ 2,120	2,325

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△2,120百万円には、セグメント間取引消去205百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,325百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得等により自己株式は、当第3四半期連結累計期間に1,524百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において1,550百万円となっております。

4. 参考情報

ガス販売量(個別)

		当第3四半期 (23/1~23/9)	前年同四半期 (22/1~22/9)	増減	増減率(%)	
お客さま数		戸	313,660	315,235	△1,575	△0.5
ガス 販 売 量	家庭用	百万m ³	69	70	△0	△0.7
	商業用	〃	26	28	△2	△7.5
	工業用	〃	521	504	17	3.4
	その他用	〃	26	29	△3	△8.9
	卸売	〃	424	395	30	7.6
	合計	〃	1,067	1,026	42	4.1
大口販売量		〃	517	498	19	3.8

(注) 1 「お客さま数」は、期末取付メーター数を記載しております。

2 「お客さま数」には、卸売先のお客さま数は含みません。

3 販売量は1m³当たり45MJ換算し、表示単位未満を四捨五入して表示しております。